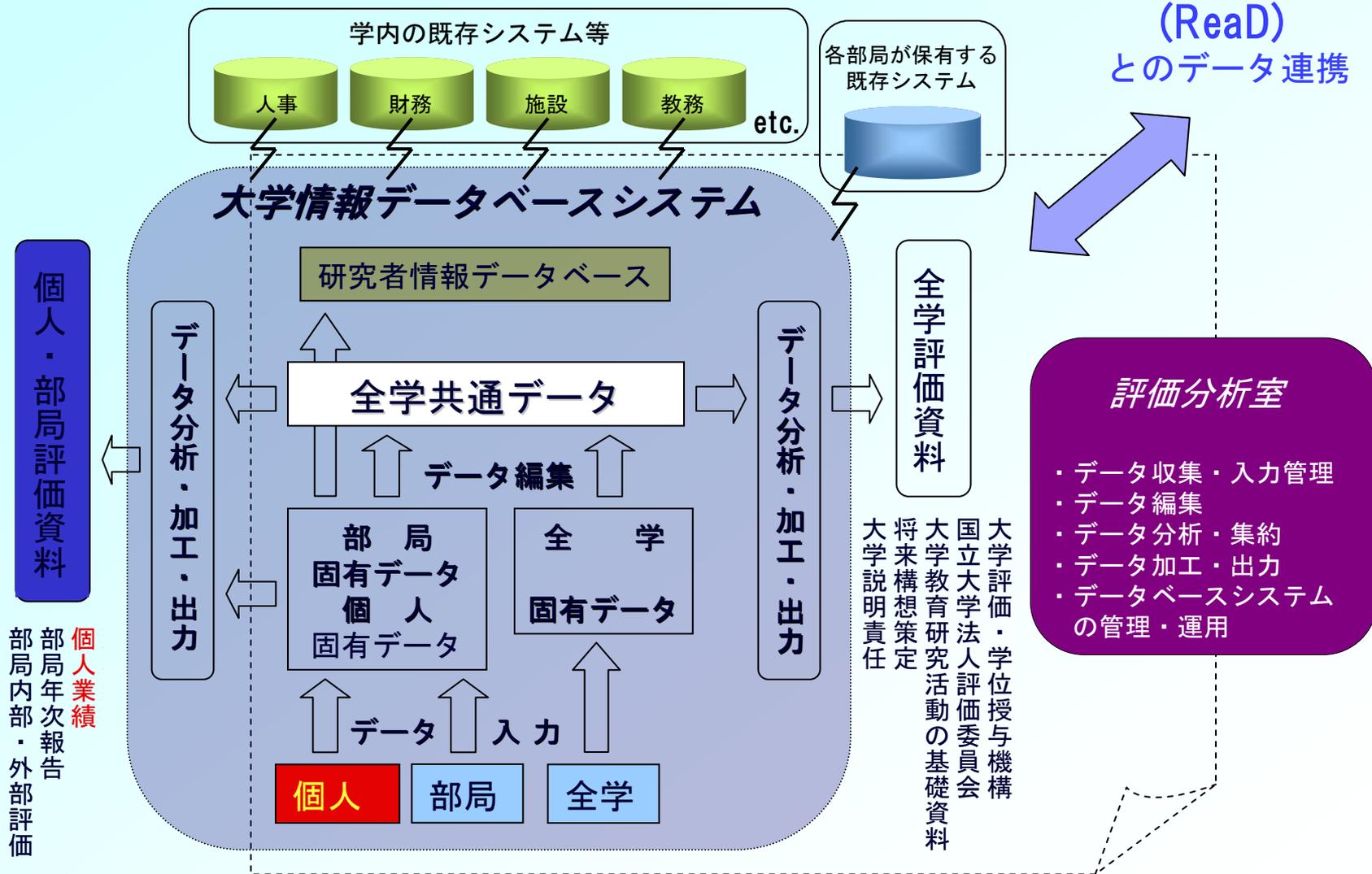


# 東北大学情報データベースの構築・運用・利用 について

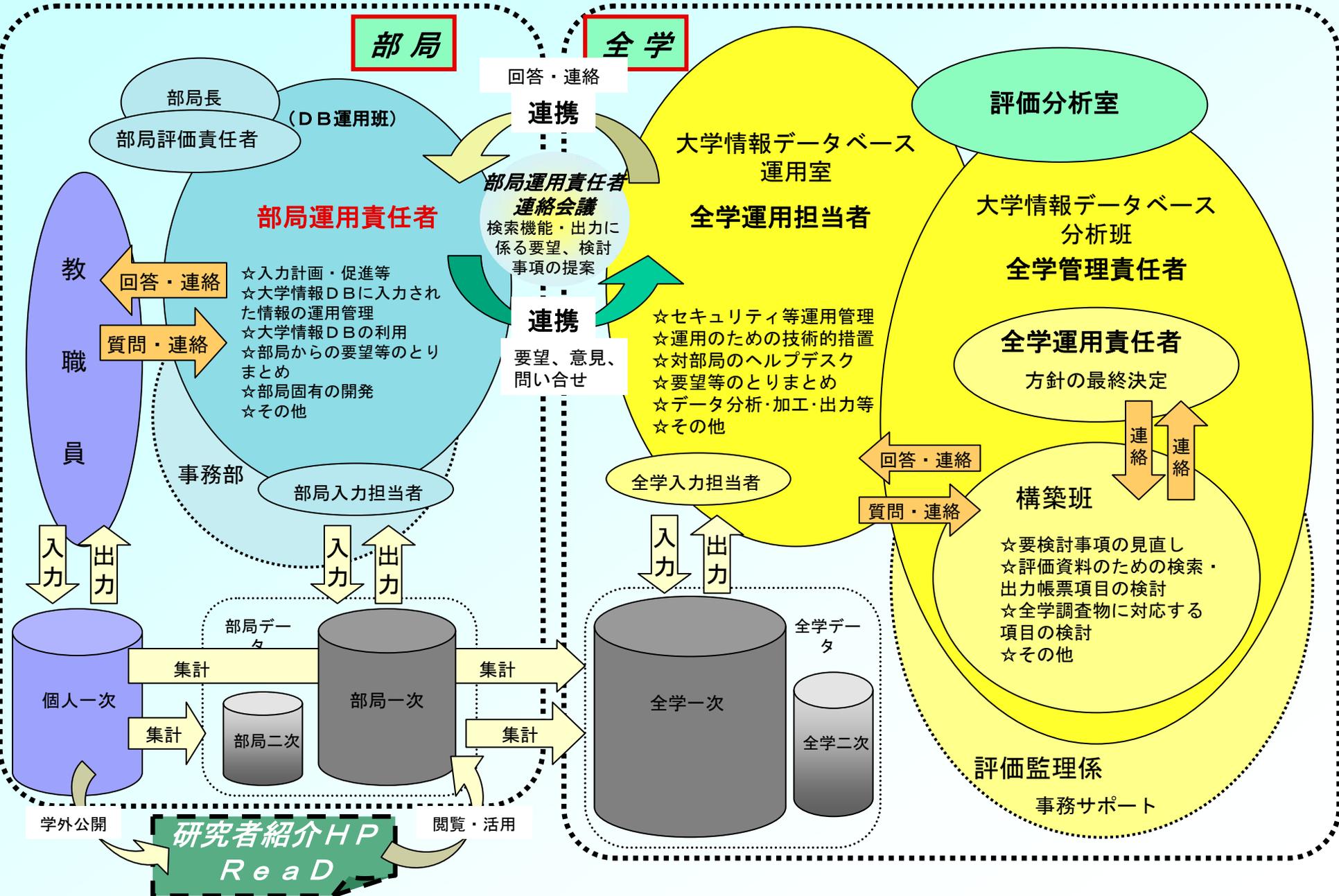
東北大学 副学長・評価分析室長 岡田 益男

# 東北大学情報データベースの構築

研究開発支援総合ディレクトリ  
(ReaD)  
とのデータ連携



# 大学情報データベースシステム運用イメージ



# 東北大学情報データベースの教員入力項目

—どの任意項目を部局の必須項目にするかは部局の判断—

| NO | 入力画面名称           | 全学必須 | ReaD | 学外公開 |
|----|------------------|------|------|------|
| 1  | 教職員基本情報          | ○    | ○    | ○    |
| 2  | 出身学校             | ○    | ○    | —    |
| 3  | 出身大学院            | ○    | ○    | —    |
| 4  | 取得学位             | ○    | ○    | —    |
| 5  | 略歴               | ○    | ○    | —    |
| 6  | 研究経歴             | ○    | ○    | —    |
| 7  | 取得資格             | ○    | —    | —    |
| 8  | 所属学会             | ○    | ○    | ○    |
| 9  | 所属クラスター          | ○    | —    | ○    |
| 10 | 専門分野(科研費分類)      | ○    | ○    | ○    |
| 11 | 専門分野(ReaD分類)     | ○    | ○    | —    |
| 12 | 兼務               | ○    | —    | —    |
| 13 | その他の特記事項(実務家教員等) | 任意   | —    | —    |
| 14 | 研修受講歴            | ○    | —    | —    |
| 15 | 研究課題             | ○    | ○    | ○    |
| 16 | 研究キーワード          | ○    | ○    | ○    |
| 17 | 研究活動概要           | ○    | ○    | ○    |
| 18 | 論文               | ○    | ○    | ○    |
| 19 | 論文一括登録           | —    |      |      |
| 20 | 著書               | ○    | ○    | ○    |
| 21 | 著書一括登録           | —    |      |      |
| 22 | 総説・解説記事          | ○    | —    | —    |
| 23 | 総説・解説記事一括登録      | —    |      |      |
| 24 | 特許               | ○    | ○    | —    |
| 25 | 実用新案・意匠          | ○    | —    | —    |
| 26 | 作品               | ○    | ○    | —    |
| 27 | その他研究活動          | 任意   | ○    | —    |

|    |  |    |   |   |
|----|--|----|---|---|
| 28 | 学術関係受賞                                       | ○  | ○ | ○ |
| 29 | 科学研究費補助金獲得実績(文科省・学振)                         | ○  | ○ | — |
| 30 | その他の競争的資金獲得実績                                | ○  | ○ | — |
| 31 | 会議の発表・講演                                     | ○  | — | — |
| 32 | 会議の主催・運営                                     | ○  | — | — |
| 33 | プロジェクト活動                                     | ○  | — | — |
| 34 | 共同研究希望テーマ                                    | 任意 | ○ | — |
| 35 | 共同研究活動                                       | ○  | ○ | — |
| 36 | 学生学位論文                                       | ○  | — | — |
| 37 | 論文博士   | ○  | — | — |
| 38 | 採用研究員  | ○  | — | — |
| 39 | 指導大学院生・学部生の発表件数                              | 任意 | — | — |
| 40 | 担当授業科目(他大学も含む)                               | ○  | — | — |
| 41 | 学内教職員支援                                      | 任意 | — | — |
| 42 | 教育活動に関する受賞(指導大学院生・学部生の受賞を含む)                 | ○  | — | — |
| 43 | その他教育上に関する活動                                 | 任意 | — | — |
| 44 | 教育相談(学生相談所、留学生センターなど)                        | 任意 | — | — |
| 45 | 学内活動   | ○  | — | — |
| 46 | 報道   | ○  | — | ○ |
| 47 | 学外の社会活動(小中高との連携、公開講座、講演会・セミナー、展示会、ボランティア活動等) | ○  | — | ○ |
| 48 | 学会活動および外部評価機関における活動                          | ○  | ○ | ○ |
| 49 | 行政機関・企業・NPO等参加                               | ○  | — | ○ |
| 50 | ベンチャー企業設立                                    | ○  | — | ○ |
| 51 | オープンキャンパス、研究所公開等                             | 任意 | — | ○ |
| 52 | 海外研究機関交流実績                                   | ○  | — | — |
| 53 | 国際交流実績                                       | ○  | — | — |
| 54 | 海外研究活動に関する統計情報                               | ○  | ○ | — |
| 55 | 使用する外国語                                      | ○  | ○ | — |
| 56 | 提供可能な資源                                      | 任意 | ○ | — |
| 57 | おすすめURL                                      | 任意 | ○ | — |

# 東北大学が開発した大学情報データベースの特長

## ー 役に立つデータベースを目指して

- (1) 教員や各部局の評価に必要なデータ項目を網羅  
教員別、部局別の評価に必要なデータ集計が可能
- (2) 大学の中期目標・中期計画に対応  
大学全体の中期計画に対する各部局の対応を集計可能  
各部局の中期目標・中期計画も入力・集計可
- (3) 大学の諸活動をデータとして集計し、年次報告等の作成が可能  
教員の教育・研究・国際交流・社会活動などの諸活動をデータ化  
各部局の教務関連、研究関連、国際交流関連などの諸活動をデータ化
- (4) 教員個人データの一覧を印刷可能  
教員個人評価に利用可能
- (5) 研究者データベース(ReaD)、東北大学研究者紹介ホームページに対応



全国国立大学データベースの基準を目指す  
長崎大学、秋田大学等10大学が導入

# 東北大学情報データベースのシステム・運用

- 教員の利便性を向上させ、データ入力率および精度の向上を目指す

## (1)入力したデータの再利用

テキスト出力機能により、教員による全入力データの再利用が可能

## (2)教員実績の学外へのアピール — DOI (Digital Object Identifier)

DOIなどを利用して、文献へ直接アクセスできる実績公開画面

## (3)教員実績の学外へのアピール — 東北大学機関リポジトリ

東北大学機関リポジトリと連携し、文献への直接アクセスを可能に

## (4)他DBシステム等との連携

ISIなどのデータベースと連携し、その機能の利用の簡便化

## (5)統合認証の利用 — 近い将来(来年度以降)の課題

ポータルなどの業務システムを入り口としSSO(Single Sign On)による教員利用率の向上



教員の利便性向上 → データ入力率、精度の向上

# 東北大学情報データベースの活用・運用の工夫について

## 1. データの入力・更新を継続させ、正確な情報の収集:

教員の評価、研究科によっては毎年研究活動レポートの発刊、数年に1回の業績集の発刊、利便性の向上などにより、データの入力を促進

## 2. データ情報の戦略的な活用

教員評価、アニュアルレポートの発刊、研究者紹介(大学ホームページ、Read,機関リポジトリなどを通じて)、同分野の研究者一覧作成(予定)、東北大学在住のPD等の研究業績の把握、第2期中期目標・中期計画の各部局の活動状況の把握(予定)などに利用

## 3. 運用の体制と業務の負担軽減にあたって工夫した点

### 【構築時】

- ・システムの初期構築で、項目や機能を十分に検討して、後からの改修をなるべく減らした。
- ・データベースのシステムを部局ごとに保有せず、全部局で利用できるように1つだけ構築する。
- ・データベースの項目の定義はゆるやかにしておいて、部局ごとに詳細な定義をする。(これは文系、理系で同じシステムを利用するためのノウハウ)

### 【運用上】

- ・紙調査を廃止し、データベースへ登録されているデータを利用する。
- ・データベース運用には、特殊なノウハウが必要なので、専門のSEを雇い、随時改修するほうが効果的・効率的。
- ・似たようなシステムの開発が別の部署で予定されている場合、少しでも早く情報を入手し、同じ部署で管理運用できるように早めにコンセンサスを取る。

## 4. 今後の課題、その他大学の参考となるような事項:

継続的な大学DBの維持・修正に要する人的、財務的負担、統合認証への利用整備

各教職員

↑ 目的、データ提供先等を理解した上でデータ入力 ↓

**確認作業必要**

東北大学  
情報データベースにかかる  
情報保護管理細則  
及び  
東北大学  
個人情報保護規程

大学情報データベース

一部の項目を公開 ↓

学内閲覧  
東北大学研究者紹介  
ReaD